

全国介護事業者連盟の理事長を務めております斉藤正行です。

7月10日に第26回参議院議員通常選挙の投開票が行われ、全国介護事業者政治連盟が友好団体として登録されている自由民主党が単独で過半数の議席を獲得しました。

ご支援・ご協力頂いた皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

また先週末には、日本および世界を震撼させた痛ましい事件が起きました。
安倍晋三元総理大臣のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、6月10日には、全国介護事業者連盟は定時社員総会・理事会にて、第4期の決算と事業報告書を承認し、第5期の事業計画と組織体制を決議致しました。

私は理事長として今後も活動してまいりますので、改めて宜しくお願い致します。

前期（第4期）の事業報告は、下記をご参照していただきたくお願い致します。

http://kaiziren.or.jp/assets/pdf/business_report_2021.pdf

コロナ禍にもかかわらず、新たな支部設立（現在24支部体制）とともに、障害福祉事業部会を設置し、更なる組織拡大を図ってまいりました。

また、令和3年度老人保健健康増進等事業（老人保健事業推進費等補助金）の採択を受けて、通所介護の調査研究事業を実施致しました。

そして、収支状況も黒字化を実現するなど、大きな飛躍を遂げた一年となりました。

今期（第5期）の事業計画は、下記をご参照していただきたくお願い致します。

http://kaiziren.or.jp/assets/pdf/business_plan_2022.pdf

前期の活動方針を踏襲しながらも新しい重点テーマを設定し、新たなステージを目指してまいります。

【6つの重点活動方針】

- ① ウイズコロナ・アフターコロナ対策と介護・障害福祉現場のサービス品質向上への取組
- ② 介護及び障害福祉事業部会 47 都道府県支部体制の構築に向けた組織拡大の推進
- ③ 2024年改定に向けた意見提言の取り纏めと実現するためのロビー活動基盤の深化
- ④ 会員法人及び現場に対する支援体制の拡充と、現場に対する活動 PR の強化
- ⑤ 組織拡大に伴う財務基盤確立に向けた取組みの推進
- ⑥ 組織体制の再構築、ガバナンス体制及び管理体制の強化

早期に全国組織体制の確立を推進し、介護保険法・障害者総合支援法・児童福祉法等の法改正と、次期報酬改定に向けた要望書の取りまとめを本格的に実施する1年としていきます。

次期報酬改定は診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス費等報酬の大きな改革を伴う見直しが想定されたトリプル改定であり、業界が団結し、現場の声を本当の意味で届けるための活動が不可欠であり、当連盟が中心的な役割を担えるように邁進してまいります。

今後とも、ご指導・ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

一般社団法人全国介護事業者連盟

理事長 斉藤正行

◆介護・障害福祉従事者の処遇改善加算に関する状況調査についてご協力のお願い

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd7S1M3w6Sb8FQ8K0RmFewG5w8qwt24DMvIqccdIS0D_NC5bQ/viewform

◆「岡山県支部 設立総会・記念講演」を開催いたします（2022年7月19日）

<http://kaiziren.or.jp/event/request/2022/okayama220719/>

◆「広島県支部 設立総会・セミナー」を開催いたします（2022年8月6日）

<http://kaiziren.or.jp/event/request/2022/hiroshima220806/>

◆厚生労働省『令和4年度介護事業実態調査（介護事業経営概況調査）』についてご協力のお願い

<http://kaiziren.or.jp/wp/wp-content/uploads/2022/06/keieijitutaityousa20220603.pdf>

◆日本デイサービス協会

【座談会】デイサービス経営の人・物・金リアルぶっちゃけトーク会 ～2024年報酬改定・LIFE対応、人材採用はどうしている？しくじり話も聞いてみたい～

日時 : 7月26日（火）15時～16時30分

場所 : 東京ビックサイト

□参加費：無料

<https://pf.japandayservice.com/seminar/seminar-2076/>

◆全国介護事業者連盟公式チャンネル 介護チャンネル

経営概況調査 介護報酬改定に最も影響を及ぼす収支差率の仕組み

<https://www.youtube.com/watch?v=xY51qHAam7w>

【特別対談】介護 YouTube 大学よっしーコラボ企画 介護・障害福祉 YouTube チャンネルの始め方

<https://www.youtube.com/watch?v=kaaEjJT8wko>

【特別対談】介護 YouTube 大学よっしーコラボ企画 介護・障害福祉事業者の SNS 戦略 SNS から職員採用に繋げる方法

<https://www.youtube.com/watch?v=zG4uGP4zL1I>

【全国介護事業者連盟動向】

6月27日 第4回 障害福祉事業部会 就労支援在り方委員会の開催（オンライン）

6月28日 高齢者住宅新聞社主催セミナー『第10回住まい×介護×医療サミット～アフターコロナを見据えた経営戦略～』で理事長が講演（オンライン）

6月30日 岡山県支部幹事会の開催（オンライン）

7月4日 第22回常任理事会の開催（オンライン）

7月4日 関東支部・東京都支部・神奈川県支部・千葉県支部幹事会の開催（東京都 神奈川県 千葉県

オンライン)

7月 4日 第2回 AIR 介護（介護 DX）推進検討部会の開催（東京都 オンライン）

7月 5日 新潟県支部幹事会の開催（オンライン）

7月 7日 第4回 障害福祉事業部会 共同生活援助（GH）在り方委員会の開催（オンライン）



厚生労働省ニュース/内閣府ニュース

・第211回社会保障審議会介護給付費分科会資料

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=wybZLKKSILTywdtRY>

・介護給付費等実態統計月報（令和4年3月審査分）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=kXS91CLGQU9fAR4DY>

・「人口動態統計月報（概数）」令和3年12月分

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/1?p=13K-JQs07Z12930FY>

・「介護予防・日常生活支援総合事業のガイドラインについて」の一部改正について

<https://www.mhlw.go.jp/content/000957757.pdf>



介護・障害福祉ニュース

トリプル改定まであと2年 介護現場の課題と取り組むべきことを探る ー後編ー

https://www.fuyo-mediwel-support.jp/cms_source/data/info/detail/000193.html

障害者施設が納豆日本一を継承 地域の人に好評、連日完売に

<https://www.fukushishimbun.co.jp/topics/27774>

障害者が養蜂、商品化 新宿生まれのハチミツ

<https://www.fukushishimbun.co.jp/topics/27744>

新型コロナ再拡大の兆し 厚労省、介護施設の医療支援体制の強化を改めて通知

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2022-07-06-3.html>

厚労省、介護キャリア段位制度の活用を呼びかけ 7割強の事業所が「評価者などがいない」「知らない」

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2022-07-06-2.html>

介護保険の総合事業、ガイドライン改正 厚労省 上限額超過の市町村に「費用低減計画」を要請

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2022-06-29.html>

大島新厚労次官、全世代型の社会保障改革に意欲 新老健局長には大西証史氏

<https://www.joint-kaigo.com/articles/2022-06-28-3.html>



■ 賛助会員広告【株式会社ベター・プレイス】

▼はぐくみ基金 2つの重大トピックス

○加入者数が3万人に到達

「はぐくみ基金」は、2018年4月の基金設立後、約4年で加入事業所数738、加入者数が約30,085人（2022年4月末現在）となり、エッセンシャルワーカーとして保育・介護業界や医療の現場を支える事業者および従業員の皆さまより、大きな反響を得ています。

○100%元本保証へ

はぐくみ基金の資産運用ポートフォリオが元本保証100%に変更となりました。リスク資産を持ってない法人格である社会福祉法人や学校法人が多く導入している為、各保険会社には一般勘定での引き受けをしていただくことで導入する法人のリスクを減らしております。

＜お問合せ＞

株式会社ベター・プレイス

TEL：03-5227-8222

<https://bpcor.jp/hagukumikikin/>

専用フォーム：<https://ma.bpcor.jp/public/application/add/1123>



■ 編集後記

ヤングケアラー支援窓口 本人からの相談は9% 周囲の介護関係者が子どもの様子に目配りを

神戸市が先月末、「ヤングケアラー支援」の実態調査結果を発表しました。同市は昨年、自治体では初めて「こども・若者ケアラー相談・支援窓口」を開設し、1年で69件の相談に対応しました。

しかし、そのうちケアラー本人からの相談は僅か9%でした。この背景には「子どものため、行政に相談することを思いつかない」という事情に加え「家族のケアをするのは当たり前」という意識が強いことも考えられます。

ヤングケアラーに限らず、介護では、ケアラーの「家族の問題であり、他人に頼るべきではない」という意識が、様々な問題を水面下に隠してしまい、虐待や介護殺人・心中などの悲惨な形で初めて表面化することが珍しくありません。

特にヤングケアラーは、SOSの発信が難しいケースが多いと思われます。介護や福祉に携わる私たちが日頃から子どもの様子に目を配り、相談に乗ったりサポートしたりすることが重要なのではないのでしょうか。

【配信元】

一般社団法人全国介護事業者連盟 <http://kaiziren.or.jp/>

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-1-4 西脇ビル4階 TEL：03-5215-5063 FAX：03-5215-5064

掲載内容の無断転載・再配布は固く禁じます。

配信不要の方はこちらにご連絡ください

info@kaiziren.or.jp